



「今童貞女は永在の主を生み、地は載せ難き者に洞を獻ず、天の使は牧者と偕に讃め歌ひ、博士は星に従ひて旅す、蓋我等の為に永久の神は嬰兒として生れ給へり。」

(降誕祭小讃詞 第3調)



仙台正教会
教会だより

2025年
12月号

仙台ハリストス正教会

〒980-0021 仙台市青葉区中央三丁目四十二〇

TEL 〇二二二五二二七四四

FAX 〇二二二四一三〇八〇

http://www.sendai-orthodox.jp

orthodox@hyper.ocn.ne.jp

私たちは聖体礼儀のたびに「ニケア・コンスタンチノープル信経」を告白しています。この「信経」は、325年に開かれた「ニケア公会」でまとめられた信仰簡条を基にして、381年の「コンスタンチノープル公会」で加筆・修正され、より普遍的な内容となったものです。

この信経の中で、ハリストスについて次のように述べられています。

「又信ず、一の主イイスス・ハリストス神の独生の子、萬世の前に父より生れ、光よりの光、眞の神よりの眞の神、生れし者にて造られしに非ず、父と一体にして萬物彼に造られ、我等人々の為、又我等の救の為に天より降り、聖神及び童貞マリヤより身を取り人となり…」

すなわち、ハリストスは被造物ではなく、神から「生まれ」た者、神の本性を有

する神の子であり、この世を創造なさった神ご自身であること、そして罪に陥り死ぬ者となった私たち人類を救うために、聖神によつて童貞女マリヤからお生まれになり、眞の神でありながら眞の人となった方であること。これらは、私たち正教徒が必ず受け認めなければならぬ「信経」なのです。そして「主の降誕祭」を控える私たちは、この信仰を決して軽視してはなりません。ハリストスは自己犠牲の愛を生きた偉人でもなければ、痛みを感じない超越者でもなく、この世を創造された永久の神ご自身でありながら、人として私たちの苦しみを死までも共にし、その身に受けて下さったお方です。そして私たちハリストス信者は、ただ漠然と神を信じる者ではなく、二千年前にお生まれになったナザレトのイイススという眞の人を、眞の神であり救い主として信じる者です。

ニケア公会から千七百年の節目の年に、神・人ハリストスへの信仰を新たに、主の降誕祭を共に祝いましょう。

ハリストス生まる！（一）

信徒懇親会の開催



東北ブロックでは毎年秋に各教会持ち回りで信徒懇親会を開催しているが、今年は中新田教会の担当により11月23日(日)から24日(月)に掛けて、「中新田交流センター」を会場に行われた。

23日(日)

懇親会は日・月の日程で行われることが多く、日曜はそれぞれの教会で聖体礼儀に参拝した後に懇親会に集まるのが通例であるが、今年は一関のマルコ小池神父様



と盛岡のピーメン松島神父様も中新田の聖体礼儀を共にしてくださり、信徒も盛岡管轄や仙台、涌谷などから集まり、総勢40名ほどの参拝者で心を合わせて主日聖体礼儀を献じた。また、聖体礼儀後には七五三のモレーベンと月例パニヒダも行われ、中新田教会にとってはご褒美のような時間となった。そして祈禱後には、婦人会が前もって用意して下さったカレーやお菓子等を皆で頂き、銘々に時間を過ごして懇親会の始まりを待った。



午後4時になり交流センターで受け付けが始まると、一時間も経たないうちにほぼ全員がチェック・イン。受付では記念品として中新田の信者の手によるアイコンのストラップが配られた。

そして午後6時、中新田教会のアキラ工藤 藤昭裕兄司会のもと、懇親会が始まった。しばし食事と会話を楽しみ、お腹が落ち着いたところでまずは仙台教会のイオアン 高橋紀武兄によるマジック・ショー。高橋兄はたくさんの道具を携えて懇親会にお越しください、会場を大いに盛り上げた。

マジックに続いては、恒例の管轄区ごとの自己紹介。中新田に至っては18名が壇上に上がり、その温かな雰囲気とセルギイ 渡邊執事長を中心とした固い団結力に、参加者一同感銘を受けた。

続いて、ダヴィド水口神父様による「アハクイズ」(画像変化クイズ)。これが意外と難しく、一同夢中になって楽しんだ。

そして最後にビンゴを予定していたものの、ここで時間切れ。景品として用意したたくさんの中新田の地の物を皆さんに配り、大盛況のうちに閉会となった。

24(月)

二日目はまず朝から中新田教会に移動し、聖堂見学とモレーベン。50名近い参加者の歌声が聖堂いっばいに響き、圧巻の祈りであった。祈祷の後は「ふるさと陶芸館」に移動し陶芸体験。童心に戻り粘土と向き合い各々作品作りに興じた。

そして陶芸の後は昼食を共にし解散。幸せを胸に一同帰路に就いた。

中新田教会のセルギイ 渡邊執事長をはじめ信徒の皆さんには大変お世話になりました。ありがとうございました。

東日本主教教区 司祭会議

11月19日(水)、函館教会に北海道と東北の全司祭が集まり、東日本主教教区の司祭会議が開かれた。

会議では、日本正教会の緊急の課題である神学生候補者を教区内から生むための方法や、次年度に函館での開催を予定している北海道と東北の合同キャンプ、教区分担金の認識の統一、宣教献金等について活発に議論された。



献金報告 (10.22～11.25)

○聖堂内献金 七万五千二百二十九円

○感謝献金

松島純子(大阪)

本多弘子、宮崎正美

○聖名祭感謝献金

高橋哲郎

岡潔

○パニヒダ献金

大場うめ子、平塚洋(一年祭)

大場真、平塚裕、平塚洋、

岡崎たい子

高橋文彦

笹川皓、伊藤光子

小原淑子、山中由美

佐藤明彦

○埋葬献金

太田悦子(北浦しきぶ姉)



※敬称略

消 息

永眠

十月二三日【中新田教会】

アフアナシヤ 北浦しきぶ 姉(81歳)

永遠の記憶

十一月二二日【仙台教会】

アキラナ 門間信子 姉(100歳)

永遠の記憶

ワシリイ田口神父様ご永眠

石巻教会を長く管轄された長司祭ワシリイ田口三千男神父様が呼吸器不全のため11月27日未明に利府の掖済会病院

で永眠されました。

神父様の永遠の安息をお祈りください。

(写真は休職後に髭を伸ばしておられた時のものです)



中新田正教会だより

10月24日(金)から25日(土)に掛けて司祭の巡回があり、晩課と聖体礼儀が行われた。また25日には毎年恒例の収穫祭が行われ、聖体礼儀に続けてモレーベンを献じたのち、境内にたくさんのコロを並べてバーベキューが行われた。



↑収穫祭前日のおにぎり作りの様子。



←収穫祭に捧げる稲は毎年継ぎ足されている。



白河正教会だより

白河教会では、11月1日(土)から3日(月)に掛けて聖堂の一般公開と司祭の巡回があり、1日に徹夜祷、2日に聖体礼儀、そして3日には司祭とイオアン大寺執事長による講演が行われた。

一般公開の期間中は多くの方が聖堂を訪れ、中には聖堂見学の後に改めて聖体礼儀にいられたり、一般公開中で教会が開かれているからと、聖堂見学ではなく参

祷を目的に来られる方もあったりと、単なる文化財の公開以上の意味を持つものであった。

3日の講演では、司祭は正教会の信仰や聖堂の構造の意味について、大寺執事長は白河に於ける正教会の歴史について話した。また講演後には山下りんの手による「就寝聖像」も公開され、教会を訪れた人々はその荘厳な美しさに魅了されていた。



12月聖名日
モレーベンのご案内
12月21日(日)聖体礼儀後

12月の聖名日モレーベンに
該当する方々です。ぜひご参拝
ください。



▲聖列祖



▲奇跡者聖ニコライ

聖名日	聖 名	氏 名(敬称略)
12/7	エカテリナ(アレクサン ドリヤの聖致命女)	高橋めぐみ、山田恵津子、本間まどか
12/7	アウグスタ(アレクサン ドリヤの聖致命女)	後藤やすゑ
12/13	アンドレイ(聖使徒)	遠藤 守、小野崇耶、高橋聡樹
12/19	ニコライ(ミラ・リキヤの 大主教奇蹟者)	大窪 仁、佐藤信一、菅原克明、高橋文彦、 道家憲雄、本多弘明、山田喜美雄、山村英作
12/21	アンフーサ(聖致命女)	山崎治子、山寺しちよ
12/26	ルキヤ(聖致命処女)	佐藤宏美
12/30	アザリヤ(聖三童子)	清水 燈
聖列祖 の主日	イサアク(聖列祖)	本多由幸、山村一作

新年会のご案内

日時:2026 年 1 月 25日(日)
(聖体礼儀後)

場所:飛天

会費:3,000 円

申込締切:1 月 18 日(日)

※参加なさる方は聖堂受付の
申込用紙にご記入なさるか、教
会までご連絡ください。

新成人モレーベン
日時:1月11日(日)
聖体礼儀後

約一ヶ月に亘り、これまでのバザー
で売れ残った物を会館四階に広げて
おきましたが、多くの品物をお持ち
帰りいただくことが出来ました。さら
に残った物を、聖歌隊(11月16日)と
バザー委員(同25日)で処分致しまし
た。ご協力ありがとうございました。

ミニバザー委員会報告

執事会報告

日時：令和7年11月4日 午後2時～3時半
場所：3階会議室

一、報告事項

10／18 聖歌研修会 講師：ダヴィド水口長司祭、テーマ：バランス、参加者：約30名、茶菓子や設営等は聖歌隊が奉仕。
・10／21 ミニバザー委員会実施。過去のバザーの残品を全て取り出して確認したところ、残品のみでのミニバザー開催は困難と判断した。そこで会館4階に物品を広げて置き、信者や会館利用者には自由に持つて帰ってもらえるようにした。

・10／23 アファナシヤ北浦しきぶ姉永眠(通夜26日、埋葬式27日、共に聖堂)

二、協議事項

(1) 聖堂外壁クラック修繕の件

ルカ平塚兄がいくつかの業者に当たったところ、定期的にすぐに見積もりを出すのは困難との回答を得た。そこで、一度

自分達の目でクラック箇所を詳しく確認し、下調べをし直すこととする。

(2) 七五三の件

子供の参拝が有れば、受付で聖名・氏名を記入してもらう。一応中学生までを対象とした子供向けのお菓子を用意するが、対象年齢に関しては柔軟に対応する。

(3) ミニバザー準備委員会の件

残品を処分する作業を11月25日(火)13時に行う。

(4) 降誕祭祝賀会の件

12月21日(日)聖体礼儀後に開催。40名前後を想定し、昨年同様に行う(ビンゴも)。24日(水)徹夜後の振る舞いに関しては、聖歌隊に確認する。

(5) 新年会について

1／25(日)に開催(1／18申込×切)。申込書を聖堂受付に置いておく。参加費の負担額等詳細は昨年同様とする。

(6) クリスマスツリー撤去作業

撤去は1／11(日)を予定。屋外ツリーの飾り方に関して、笹川執事長より、木の

に星を飾り、電飾は木に巻かずに垂らすような方法を予定しているとの報告。

三、その他

・シャンデリアの電球交換が必要。
・月例パニヒダの際の糖飯担当、お花担当には、案内ハガキにその旨を書き添える。
・生神女進堂祭の花を用意する。
・ミラ・リキヤの聖ニコライ祭の楽譜はある。

・年間スケジュールを配布した。

・新年感謝祈祷の時間や祈祷内容は、本年(2025年)1／1の奉事に倣う。

・成人のモレーベン該当者を調べる。

・2月に神父が日曜を挟む入院をする可能性有り。

降誕祭前の 教会清掃

日時：12月7日(日)
代式祈祷後
(11時過ぎ)

ご奉仕をよろしくお
願い致します！

12 月の行事・奉事予定

○仙台教会

2 日(火) 定例執事会(14 時)

3 日(水) 生神女進堂祭 徹夜祷 (17 時)

4 日(木) 生神女進堂祭 聖体礼儀(9 時)

書札 エウレイ 320 端 9:17

福音 ルカ 54 端 10:38-42、

11:27-28

6 日(土) 徹夜祷はありません 第 1 調

7 日(日) 第 26 主日代式祈祷(10 時 30 分)

書札 エフェス 229 端 5:8-19

福音 ルカ 71 端 13:10-17

◆降誕祭前の教会清掃

13 日(土) 主日徹夜祷 第 2 調(17 時)

14 日(日) 聖列祖の主日聖体礼儀(10 時)

書札 コロサイ 257 端 3:4-11

福音 ルカ 76 端 14:16-24

■月例パニヒダ

18 日(木) 聖ニコライ祭 徹夜祷(17 時)

19 日(金) 聖ニコライ祭 聖体礼儀(9 時)

書札 エウレイ 335 端 13:17-21

福音 ルカ 24 端 6:17-23

20 日(土) 主日徹夜祷 第 3 調(17 時)

21 日(日) 聖世祖の主日聖体礼儀(10 時)

書札 エウレイ 328 端 11:9-10、

17:23、32-40

福音 マトフェイ 1 端 1:1-25

◎聖名祭モレーベン

24 日(水) 降誕祭前日晚課聖体礼儀(9 時)

※聖大ワシリイ聖体礼儀

書札 エウレイ 303 端 1:1-12

福音 ルカ 5 端 2:1-20

24 日(水) 主の降誕祭 徹夜祷(18 時)

25 日(木) 主の降誕祭 聖体礼儀(9 時)

書札 ガラティヤ 209 端 4:4-7

福音 マトフェイ 3 端 2:1-12

27 日(土) 主日徹夜祷 第 4 調(17 時)

28 日(日) 降誕祭後主日聖体礼儀(10 時)

書札 ガラティヤ 200 端 1:11-19

福音 マトフェイ 4 端 2:13-23

○新年感謝祈祷

1 月 1 日(木) 午前 0 時、午前 11 時

○白河教会

5 日(金) 教会清掃(9 時半)

堂祭

6 日(土) 生神女進堂祭 徹夜祷 (18 時)

7 日(日) 生神女進堂祭 聖体礼儀(10 時)

※聖書の読みは上記をご覧ください。

○中新田教会

14 日(日) 第 27 主日代式祈祷(10 時)

書札 エフェス 233 端 6:10-17

福音 ルカ 91 端 18:18-27

26 日(金) 聖歌練習、祈祷の予習(16 時)

主の降誕祭前晩祷 (17 時)

27 日(土) 主の降誕祭 聖体礼儀(10 時)

※聖書の読みは上記をご覧ください。

12 月の予定(仙台)

【代式祈祷】7(日)

【降誕祭前清掃】7(日)

【月例パニヒダ】14(日)

【聖名祭感謝祈祷】21(日)

【降誕祭祝賀会】21(日)

【聖歌隊】

(発声)7(日)13 時半

(練習)14(日)

【伝道会】17(水)19 時